

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	開催にあたっては、家族との関わりが多く持てる機会と捉え、家族も参加しやすいような環境づくりや働きかけに期待したい。	家族の参加。	家族面会時や電話等で、開催の趣旨・会議参加を呼び掛ける。事業所と積極的に関わって頂いている家族に開催の周知をする。	3ヶ月
2	6	日常的に、全職員で身体拘束をしないケアについて学ぶ機会とともに、日頃のケアを振り返る機会づくりを期待したい。	年2回以上の身体拘束に関する研修会実施。	日常的に日頃のケアの振り返りの機会をつくり、年2回以上の研修会を開催する。	3ヶ月
3	10	事業所から運営に関する意見をもとめるため、具体的な課題提起をするなど、家族の意見を活かした取り組みにつながることを期待したい。	事業所の運営について、家族からの意見を求める。	家族面会時や電話等で、事業所の運営について意見を求める。	3ヶ月
4	26	介護計画のサービス内容がより具体的なものとなることで、職員の統一したケアや、モニタリングの評価にも繋がるよう、一貫した記録づくりを検討することを期待したい。	サービス内容を具体的にし、計画書の内容と介護記録の内容との紐付けができるようにする。	サービス内容をより職員が記録しやすい内容に具体化し、介護記録の内容と結び付ける。	3ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。